

R 6 地域クラブ活動の参加について

(1) 檜山中体連体育大会における参加の特例

◎地域クラブ活動に所属する中学生

- ① 地域クラブ活動に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
- ② 北海道中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
 - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（檜山地区の中学校に在籍している生徒であること）。
 - ウ 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
 - エ 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月スポーツ庁発出）の「2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進、3 適切な休業日等の設定」を遵守していること。
 - オ 檜山中学校体育連盟に加盟もしくは認定されていること。かつ、道南陸上競技協会に登録していること。
 - カ 檜山中学校陸上競技大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
 - キ 地域クラブ活動で全道・全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
 - B 北海道中学校陸上競技大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 北海道中学校陸上競技大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項などに従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 北海道中学校陸上競技大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任有る代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険などに加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - ウ 北海道中学校陸上競技大会への参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
 - C 参加を認めない場合
 - ア 北海道中学校陸上競技大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。
- ③ 北海道中学校陸上競技大会参加の特例細則

在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録している地域クラブ活動の所属のいずれかで参加できる。いずれの場合も、在籍している学校が所在する市町村(※)より、標準記録突破指定大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に参加する。リレーは、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」又は登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。複数の種目（リレーを含む）に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。標準記録突破指定大会、および全日本中学校陸上競技選手権大会には同一の所属団体から出場しなくてはならない。

(※) 以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の市町村より参加することができる。

- ① 「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合
- ② 在籍している学校に希望する部活動がないこと等の場合において、北海道中学校体育連盟が市町村をまたいだ大会参加を認めている場合

◇ 「地域移行の受け皿となって入り地域クラブ活動」の定義について（北海道中体連）

「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」とは、当該団体が在籍地等の教育委員会や学校等と連携しながら、地域移行に向けて取組を進めているクラブ（教育委員会の承認が必要）のことであり、複数のチームから一部の選手のみを選抜した形でつくるような地域クラブ活動を意味するものではないこと。

【該当競技・該当種目】

・ 陸上競技リレー ほか

※：各市町村教育委員会と連携し、域内の学校部活動の地域移行に向けた具体的な取り組みに日常的に参画したり、学校部活動を地域移行させるための団体として指定したりしている団体であること。

※：域内の中学校の生徒が所属している団体であるということのみを持ってして、「地域移行の受け皿」であるということには該当しないこと。